

安全作業の心得

4 月がスタートしました！新規一転心を入れ替えて、安全第一で頑張りましょう！！
林業安全の心得をご紹介します。一つ一つ確認しながら、業務を行いましょう！

作業安全心得

- ★作業は安全第一を心掛け、急いだり慌てたりしないようにしましょう。
- ★決められた作業手順を守り、真剣に作業に取り組みましょう。
- ★共同作業を念頭におき、周囲の安全と仲間の体調に気を配りましょう。
- ★整理・整頓・清掃・清潔に心掛けて作業環境を整備しよう。
- ★作業前に機械、器具、工具、計測器等の安全状態をチェックしましょう。
- ★手元・足元・頭上に注意し、正しい姿勢で作業しましょう。
- ★作業着・作業靴・安全帽・ヘルメットは清潔に保ちましょう。
- ★ヒヤリハットはすぐに報告、不具合は直ちに改修しましょう。
- ★作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐしてから動きましょう。
- ★作業中の私語は、お互いの注意力を損なうので慎みましょう。

苗木づくりと植栽

日本では、山に種をまいて、木を育てるのではなく、「苗場（苗畑）」で1～3年間程度苗木として育ててから、山の植栽（植付け）して育てます。

苗木を植栽する前に、苗木の生活環境をよくするため、雑草などを取り除く、

「地拵え（じごしらえ）」という作業をします。刈払った雑草や、伐採した木の枝などを片付けて整地します。

地拵えは林業の中でも大変な作業ですが、一番最初の重要な仕事です。

苗木を植える場所を作る作業で、「地あけ」ともいいます。

植栽の時期はあまり暑くない春や秋が多く、苗木は山の斜面に手作業で、穴の中の落ち葉やゴミを綺麗に取り除き、1本ずつ丁寧に植えていきます。

根と土の間に隙間が出来ないように気を付けて、根の回りには土をたっぷり入れ、上からしっかり踏みつけて固定します。苗木はある程度密集させた方が早く真っ直ぐ上に向かって伸びるそうです。

こうした作業により、山は保たれていることを忘れず、自然と作業員に感謝しましょう。

今現在、シカやクマ等の野生鳥獣による森林被害面積は全国で、約8千ヘクタールとなっています。このうち、シカによる枝葉の食害や剥皮被害が全体の約8割を占めていて、深刻な状況となっています。

シカの増加の原因として、戦後は食肉として食べたり、毛皮としても使用してきましたが、牛や豚、鶏などが食肉として増えてきた為、シカの数が多くなってきた原因の1つだと言われています。樹皮を食べられてしまうと、木々が枯れ、森林が衰退することで、そこをすみかとする動植物に影響を与えてしまいます。それを防ぐ為に、猟友会の方達の駆除や、柵を立てたり、補修作業をしたり、毎月点検を行っています。美しい森林を守る為、日々林業作業員達は頑張っています。気持ちよく山へ行けるのも、こういう方達のおかげでもあるんです。

依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

一生懸命仕事していると、自分自身を発見するチャンスに恵まれる！

今月の一言

シカ被害対策